News Release

東武トップツアーズ

2026 年 9 月 30 日

2026 年度　第 2 四半期累計事業概況

東武トップツアーズ株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：百木田康二）の、2026 年度第 2 四半期（2026 年 1 月～6 月）累計事業概況をお知らせいたします。

報道関係の方からのお問合せ
東武トップツアーズ株式会社　経営戦略部　広報担当　　TEL:03-3622-6215

第２四半期累計事業概況

（2026 年 1 月 1 日から
2026 年 6 月 30 日まで）

2026 年上半期の世界経済は、中東情勢の緊迫化に伴う地政学的な下押し圧力を、世界的な広がりを見せたAI(人工知能)投資ブームに伴う需要の拡大が相殺する形で、全体的には底堅く推移しました。こうした状況を受け、IMF(国際通貨基金)は、世界全体の成長率を 3.0%と予測しています(IMF「世界経済見通し(WEO)」より)。

日本経済においては、中東情勢の影響による資源高という逆風を受けつつも、3 期連続のプラス成長を維持し、緩やかな回復基調をたどっています。ただし、4 月～6 月における実質個人消費は、8 四半期ぶりにわずかながらマイナスへ転落し、不透明な中東情勢の影響によるマインドの低下や、継続する物価高などによる内需の弱さが懸念材料のひとつとされています。

旅行業界においては、訪日旅行市場が過去最高水準を維持しながらも、国内旅行と海外旅行では、旅行素材の高騰や円安の影響等で伸び悩み、明暗が分かれる状況となっています。

国内旅行は、宿泊費や物価上昇により、旅行 1 回当たりの平均単価は増加したものの、日本人の旅行人員は横ばい、または微減という状況です。

海外旅行については、歴史的な円安と燃料費用の高騰が大きな影響を及ぼし、日本政府観光局のデータによると、5 月、6 月の海外旅行者数は前年同月を上回ったものの、2019 年比ではいまだ約 28%減の水準であり、行先も遠方から近距離志向が強まっています。

一方、訪日旅行市場においては、上半期の訪日外国人数が累計で約 2,100 万人を突破し、前年に続いて驚異的なスピードで 2,000 万人の大台を突破しました。ただし、その内容に目を向けると、従来最大の市場であった中国からの訪日客が前年同期比 56.4%の大幅な減となった一方、台湾、韓国、アメリカなど 15 以上の国・地域で月ごとの過去最高記録を更新するなど、特定の国からの市場に依存しない多様化が進行しています。

こうしたなか当社は、本年 1 月より『北海道インバウンドセンター』を発足させ、多様化・高付加価値化する訪日旅行需要への対応や地方発ビジネスの独自化を図るとともに、外部の専門的な知見や協力を得た強固な共創ネットワークによる事業推進に努めてまいりました。また、産官学の知見を結集し、持続可能な地域モデルの実現を目指す「一般社団法人未来社会デザイン機構(FSDi)」を設立し、当社が取組んだ地域課題解決を通じて得た知見と旅行業で培った「つなぐ力」を融合させ、実効性の高い社会実装プロジェクトを展開しています。そして様々な面から注力領域への取り組みをさらに深化させ、時代の変化に即した柔軟かつ付加価値の高いソリューションの提供を推進しております。

その結果、当第 2 四半期累計期間の業績は、営業収益 495 億 25 百万円（前年同期比 8 億 35 百万円減）、営業利益▲1 億 93 百万円（前年同期比 1 億 99 百万円減）、経常利益▲48 百万円（前年同期比 89 百万円減）、当期純利益▲68 百万円（前年同期比 1 億 40 百万円減）となりました。

団体旅行では、営業収益 423 億 76 百万円（前年同期比 15 億 11 百万円増）となりました。前年同様に首都圏、関西圏を中心に旺盛な企業需要により営業収益の増加につながりました。昨年実施された大阪・関西万博による収益の反動はあったものの、全体としては堅調に推移しました。

個人旅行では、営業収益 16 億 88 百万円（前年同期比 9 億 53 百万円減）となりました。事業環境の変化に伴い D2C（Direct to Consumer）シフトを推進した一方で、次世代基盤への移行に伴う WEB サイトの改修や店舗網の最適化といった事業構造改革を実施した結果、過渡期における一時的な影響等により営業収益は減少しました。なお、これらの施策により今後はオンラインを中心とした効率的な収益体制の強化を進めてまいります。

業務受託事業では、営業収益 49 億 76 百万円（前年同期比 15 億 04 百万円減）となりました。社会課題解決に向け、デジタル技術を活用したソリューション型提案を国や自治体等から受託し運営する当事業では、物価高騰対策事業をはじめとする地域創生事業や、防疫事業といった新たな案件の受託が堅調に推移したものの、前年同期比では減少となりました。

国内・海外・訪日旅行の商品別概況は以下のとおりです。

国内旅行の当第 2 四半期累計期間実績は、営業収益 321 億 55 百万円（前年同期比 8 億 33 百万円減）となりました。旺盛な企業需要を中心に団体取扱は引き続き堅調に推移したものの、前年の大阪・関西万博の反動により一般団体の取扱が減少したほか、システム改修の遅延が自社企画商品の販売に影響し、前期実績を下回りました。

海外旅行の当第 2 四半期累計期間実績は、営業収益 90 億 56 百万円（前年同期比 12 億 28 百万円増）となりました。継続する円安などの逆風はあるものの、自治体や省庁による大型案件の受託が大きく牽引し、前期実績を上回りました。

訪日旅行の当第 2 四半期累計期間実績は、営業収益 31 億 93 百万円（前年同期比 2 億 23 百万円増）となりました。前年に続きクルーズ船需要が堅調に推移したことに加え、需要拡大を見越した人員体制の強化が奏功し、新規クルーズ案件の獲得・受託に繋がったことなどから、前期実績を上回りました。

第 2 四半期累計期間における事業の状況は以上のとおりです。

※営業収益については企業会計基準第 29 号「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

貸　借　対　照　表

（2026年6月30日現在）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	53,389 百万円	流動負債	35,937 百万円
現金及び預金	5,886	未払金	6,776
預け金	30,942	未精算旅行券	2,914
顧客未収入金	10,950	未払法人税等	121
未収手数料	46	未払消費税等	93
短期貸付金	1	未払費用	1,494
旅行前払金	4,879	預り金	5,280
前払費用	270	前受金	12,002
その他の流動資産	422	旅行前受金	6,975
貸倒引当金	△9	リース債務	124
		事業損失引当金	20
		その他の流動負債	134
固定資産	6,845	固定負債	2,219
有形固定資産	666	退職給付引当金	1,953
建物	239	リース債務	181
器具備品	111	その他固定負債	83
土地	16		
リース資産	298		
		負債合計	38,157
		純資産の部	
無形固定資産	2,448	株主資本	22,018
ソフトウェア	1,039		
ソフトウェア仮勘定	1,407	資本金	3,000
その他の無形固定資産	1		
		資本剰余金	1,200
		資本準備金	750
投資その他の資産	3,730	その他資本剰余金	450
投資有価証券	1,227		
関係会社株式	569	利益剰余金	17,818
長期貸付金	8	その他利益剰余金	17,818
破産・更生債権等	75	繰越利益剰余金	17,818
長期前払費用	0		
差入保証金・敷金	1,042		
繰延税金資産	712	その他有価証券評価差額金	58
その他の投資等	205		
貸倒引当金	△109	純資産合計	22,076
資産合計	60,234	負債及び純資産合計	60,234

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

損　益　計　算　書

（２０２６年　１月　１日から
２０２６年　６月３０日まで）

科　目	金　額	
	百万円	百万円
営業収益		49,525
営業費		48,175
営業総利益		1,349
一般管理費		1,542
営業損失		193
営業外収益		
受取利息および配当金	183	
貸倒引当金戻入益	1	
その他の収益	4	189
営業外費用		
支払利息	3	
為替差損	34	
その他の費用	7	44
経常損失		48
特別損失		
減損損失	6	
固定資産除却損	3	9
税引前当期純損失		58
法人税、住民税および事業税	25	
法人税等調整額	△ 14	10
当期純損失		68

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

2026年度 第2四半期累計 営業収益

【セグメント別】

（単位：百万円）

	2026年度 第2四半期累計	2025年度 第2四半期累計	前期比
営業収益	49,525	50,360	▲ 835
団体旅行	42,376	40,865	1,511
個人旅行	1,688	2,642	▲ 953
業務受託事業	4,976	6,481	▲ 1,504
その他	483	372	111

【商品別】

（単位：百万円）

	2026年度 第2四半期累計	2025年度 第2四半期累計	前期比
営業収益	49,525	50,360	▲ 835
国内旅行	32,155	32,988	▲ 833
海外旅行	9,056	7,828	1,228
訪日旅行	3,193	2,969	223
その他	5,119	6,573	▲ 1,454

（参　考）

2026年度 第2四半期累計 取扱高

【セグメント別】

（単位：百万円）

	2026年度 第2四半期累計	2025年度 第2四半期累計	前期比
取　扱　高	59,921	58,035	1,886
団体旅行	42,376	40,865	1,511
個人旅行	11,702	9,839	1,862
業務受託事業	4,976	6,481	▲ 1,504
その他	866	849	17

【商品別】

（単位：百万円）

	2026年度 第2四半期累計	2025年度 第2四半期累計	前期比
取　扱　高	59,921	58,035	1,886
国内旅行	38,331	37,021	1,310
海外旅行	12,794	10,859	1,934
訪日旅行	3,306	3,115	190
その他	5,488	7,038	▲ 1,549